

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2020年11月5日
作成 高齢者支援センター	堺1
作成者	小森 恵美子

1.開催日時	2021年3月19日	(金)	18:30	～	20:00
2.会場	オンライン開催(ZOOM)				
3.主催センター	堺1 . . .				
4.参加人数	36人				
5.参加者内訳	☒ 高齢者支援センター 5人 ☒ 医療と介護の連携支援センター 5人				
	☒ 医療関係者 11人 (うち、医師 1人) ☒ 介護事業者 11人				
	☐ 民生委員 人 ☐ 老人会 人 ☐ 住民 人				
	☐ 町内会自治会 人 ☐ 警察 人 ☒ 行政 3人				
	☒ その他 (障がい者支援センター 1人)				
6.開催テーマ	相原町の「心の病を抱えた方を支える社会資源を共有する」				
7.地域課題	(1)課題設定の背景 昨年10月に「心の病を抱えた方を支える地域づくり」というテーマで地域ケア推進会議を開催した。会議では、対応に苦慮している内容の情報共有と、対応策(仕組みづくり)についてグループワークを行ったところ、訪問診療・医療との連携に対する意見が複数挙げられた。このことから、仕組み作りに向け、社会資源について、支援者同士の連携を深めていく。 (2)検討した地域課題 相原町内における精神疾患をおもちの方への支援と、医療(訪問診療・訪問看護)との連携について				
8.会議の内容	①本地域ケア会議の目的(課題設定の背景)の説明。 ②アンケート集計結果について ③社会資源の共有(訪問診療、訪問看護、医療保険と介護保険) ④グループ討議(少人数に分かれ、「訪問看護とケアマネによる効果的な連携について」意見交換) ⑤グループ発表(全4グループより討議内容の発表) ⑥あさひの丘メンタルクリニック、佐藤先生による挨拶				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	課題に対する支援として、介護と医療(訪問診療・訪問看護)との連携について、参加者より支援に関する情報共有を図ることができた。また、課題に対する対応策について、グループ討議の意見として ①チームで情報を共有し、対応するのが良いのではないかな。 ②情報は端的にタイムリーに伝達できるようなツール(MCS等)の活用を取り入れても良いのではないかな。 ③認知症初期集中支援事業が精神疾患をお持ちの方に拡充できる取り組みがあればよいのではないかな。これらの連携に対する意見が上がった。 このことより今後の展開として、居宅介護支援事業所に対し、ツール(MCS等)について周知の機会を設けることや、定期的な情報交換会の開催について関係各者とともに検討する。				